



平和首長会議ニュース

2023年12月 / 第168号

平和首長会議加盟都市数

166 か国・地域 **8,342** 自治体

加盟都市数 10,000 都市を目指しています!

日本国内加盟自治体数 : 1,739

(2023年12月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック!



ウェブサイト:

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/>



フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



X(旧ツイッター):

<https://x.com/Mayors4Peace>

「いいね!」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆ 核兵器廃絶に向けた取組の推進を求める日本政府に対する要請文等を提出しました
- ◆ 核兵器禁止条約第2回締約国会議に出席しました
- ◆ 子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2023の入賞作品を決定しました!
- ◆ 平和首長会議加盟自治体数:166か国・地域 8,342自治体
- ◆ 平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆ 平和教育の取組事例を募集しています
- ◆ 被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆ 長崎大学核兵器廃絶研究センターから:2023年版「世界の核物質データ」ポスター解説①
- ◆ ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆ 広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

■核兵器禁止条約第2回締約国会議に出席しました

平和首長会議は、11月27日から12月1日まで米国・ニューヨーク市で開催された核兵器禁止条約第2回締約国会議へ松井会長（広島市長）、鈴木副会長（長崎市長）、香川事務総長を含む代表団を派遣し、国連・各国政府関係者に、非人道的な結末をもたらす核兵器に対する強い懸念を訴えるとともに、締約国に対して、同条約の実効性を高めるための議論を進展させるよう要請し、具体的な核軍縮の進展を求めました。また、平和首長会議及びICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）の共同サイドイベントや平和首長会議原爆平和展を開催し、核兵器のない平和な世界の実現に向けた機運を醸成しました。

松井会長は、一般討論演説でのスピーチで、鈴木副会長と共に平和首長会議の代表として発言し、非核保有国と核保有国との間に不信感が高まっているという現実、被爆者の切なる願いを根底から打ち消しかねない事態であることを指摘した上で、核兵器禁止条約の実効性を高めていく重要性について言及し、核兵器不拡散条約（NPT）と核兵器禁止条約が補完関係を保ちながら機能するための取組を進めるよう訴えました。そして、平和首長会議が市民の平和意識を醸成し、あらゆる暴力を否定する平和文化の振興に邁進していく決意を表明し、各国政府代表者に対し、核兵器のない世界の実現に向けた歩みを共に進めるよう呼び掛けスピーチを結びました。

核兵器禁止条約第2回締約国会議における会長・副会長スピーチ
 会長（広島市長）：[日本語訳](#) ・ [英語原文](#)
 副会長（長崎市長）：[日本語訳](#) ・ [英語原文](#)



スピーチする松井会長（左）と鈴木副会長（右）



グテーレス国連事務総長（中央）と
 （写真提供：国連／エヴァン・シュナイダー）

また、核兵器禁止条約締約国会議等への出席の機会を捉えて、各国政府や国連の代表者等と面会し、核兵器を巡る国際情勢に関する意見交換を行い、核兵器のない世界の実現に向けた歩みを共に進めるよう呼び掛けるとともに、平和首長会議の加盟都市の更なる拡大について協力を依頼しました。

平和首長会議は今後も、国連やNGO等と協力して、加盟都市と共に、PXビジョンに掲げる「平和文化の振興」を進めるためにも、平和首長会議のネットワークを活用した青少年の育成や、核兵器廃絶に向けた政策転換を促す市民社会の形成に一層力を入れていきます。

平和首長会議代表団の活動の詳細については、平和首長会議ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/2023/post-231211/>

■■平和首長会議加盟自治体数:166か国・地域 8,342自治体

2023年12月1日付で、21自治体が加盟し、加盟自治体数は8,342都市となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国・地域名	新規加盟都市名	加盟都市数	備考
アルバニア	ティラナ	4	平和団体であるパスウェイズ・トゥ・ピースが開催したイベントに寄せて平和首長会議への加盟を呼び掛ける会長メッセージを送付したことにより加盟。
ドイツ	アムツェル等4都市	873	副会長都市及びリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けにより加盟。
ヨルダン	アブドゥッター・ビン・ロワハ等13都市	25	今年8月に平和記念式典に参列した駐日ヨルダン大使の要請がきっかけとなり加盟。
オランダ	フェーレ	177	
ポルトガル	オデミラ等2都市	51	理事都市及びリーダー都市であるエヴォラ市の呼び掛けにより加盟。

5か国から21都市が加盟

	アルバニア	1都市
	ドイツ	4都市
	ヨルダン	13都市
	オランダ	1都市
	ポルトガル	2都市

 **加盟都市数**

166
か国
地域

8,342
都市

2023年12月1日現在

加盟都市数 10,000都市 を目指しています！


平和首長会議では、核兵器のない平和な世界の実現に向けた大きな潮流をつくるため、**10,000都市加盟**を目指し、加盟拡大に取り組んでいます。海外の姉妹・友好自治体で、平和首長会議に未加盟の自治体がある場合は、是非加盟の呼び掛けにご協力をお願いします！

🔗 12月1日付新規加盟自治体一覧(PDF): https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2023/file-2311-newmembers2312_jp.pdf

🔗 加盟都市数一覧(国・地域別) (PDF): https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/monthly/file-07_membership_by_country_jp.pdf

=====
■平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
=====

2021年7月にオンラインで開催した第12回平和首長会議理事会において、「[平和首長会議行動計画\(2021年－2025年\)](#)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた取組の推進にご協力ください。

🔗 「平和首長会議行動計画(2021年－2025年)」(PDF):
https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-PX_Vision_Action_Plan.jp.pdf

🔗 行動計画に基づく取組(平和首長会議ウェブサイト):
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/>



=====
■平和教育の取組事例を募集しています
=====

平和首長会議事務局では、加盟都市での取組の活性化につなげていくために、各加盟都市において実施されている平和教育の取組事例を収集し、「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介しています。これまでに寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

🔗 平和教育の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/edu-example/>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。頂いた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:
Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

=====
■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
=====

平和首長会議では、行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の苗木の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

今年度においても、すでに多くの加盟都市から配付の申請をいただいております。ありがとうございます。引き続き申請を受け付けておりますので、是非ご検討いただければ幸いです。この事業は、通年でやっているため特に申請期限はありません。



また、被爆樹木二世の苗木を活用した取組(植樹式や啓発活動を行ったり、平和教育の教材として活用した例など)がありましたら、是非事務局にご報告ください。このメールマガジンや、平和首長会議ウェブサイトの「[加盟都市の活動](#)」コーナーでご紹介します。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp
▼TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

■長崎大学核兵器廃絶研究センターから:2023年版「世界の核物質データ」ポスター解説①

前回まで4回にわたり、「世界の核弾頭データ」ポスターを解説しました。今回からは、「世界の核物質データ」ポスターについて紹介していきます。

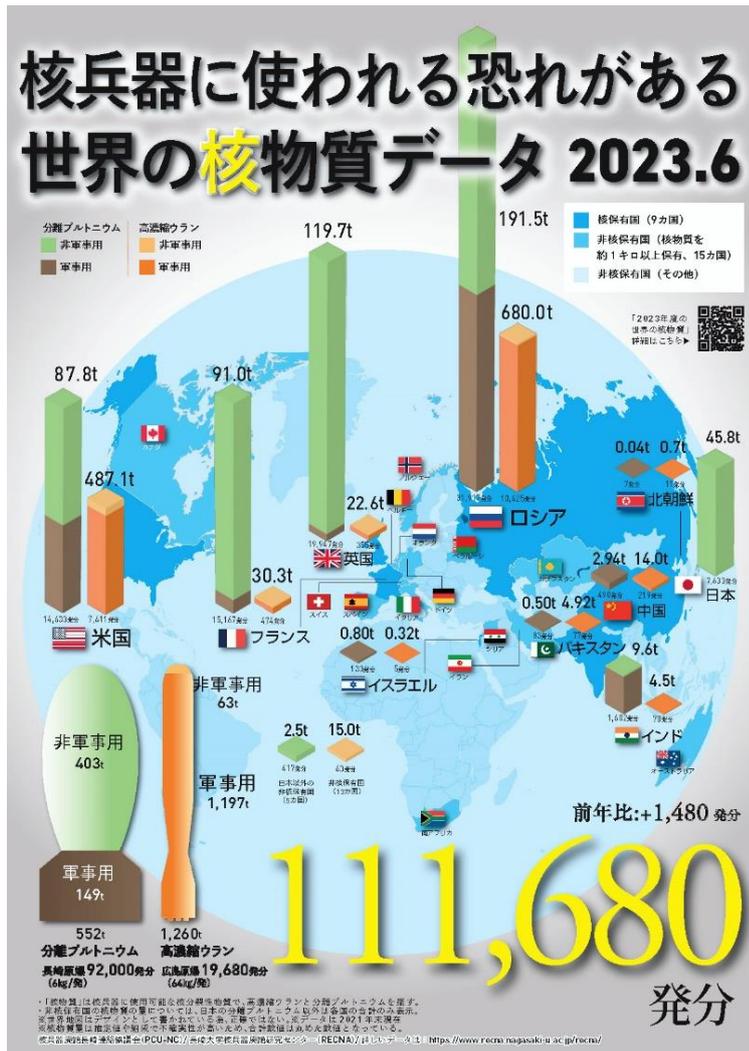
RECNAでは、2015年から、核兵器廃絶長崎連絡協議会(PCU-NC)の協力のもと、核兵器に使われる恐れのある核物質(高濃縮ウラン・分離プルトニウム)の量を保有国別・目的別にわかりやすく図示したポスターを作成しています。

世界には、軍事用、非軍事用(※)あわせて、およそ1,260トンの高濃縮ウランと552トンの分離プルトニウムが存在しています(データは2021年末現在)。この状況をわかりやすく示すために、ポスターでは、高濃縮ウランとプルトニウムの量を、78年前の広島と長崎に使用された原爆に換算してグラフにしました。広島原爆には64kgの高濃縮ウラン、長崎原爆には6kgのプルトニウムが含まれていたと想定されています。したがって、世界の核物質は、広島原爆・長崎原爆に換算すると、それぞれ19,680発分、92,000発分となり、合計すれば優に11万発を超える分量であることがわかります(実際には不確定要素が大きく、あくまで概算値です)。

世界の核弾頭は2023年6月現在で推定12,520発ですから、計算上は、既に存在している核弾頭を何倍にもすることができるのです。もちろん、技術が進んだ現在では、78年前よりもっと少ない量の核物質で原爆製造が可能です。国際原子力機関(IAEA)は、25kgのウラン235、あるいは8kgのプルトニウムがあれば1発の爆縮型核兵器が製造できるとしています。

ポスターのもととなった詳細なデータは、<https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/topics/43627>で公開しています。さらに詳しい内容を知りたい方はそちらをご覧ください。

2023年版「世界の核物質データ」ポスター



※ 軍事用／非軍事用の高濃縮ウラン:
 軍事用は核兵器に使用する目的、または原子力推進軍艦の原子炉燃料に用いられる高濃縮ウランのこと。非軍事用は研究・試験炉の燃料中の高濃縮ウランや、軍事目的としては余剰とされた高濃縮ウランのこと。

軍事用／非軍事用の分離プルトニウム:
 軍事用は核兵器に使用する目的のプルトニウムのこと。非軍事用は軍事用でない原子炉の使用済み核燃料から分離したプルトニウムのこと、および兵器用としては余剰と公表されたプルトニウムのこと。

画像提供:長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース(連載第110回)

[中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====
広島に原爆が投下された1945年8月6日、自ら被災しながらきこ雲やその下の惨状を写真に収めた市民や新聞記者がいました。次いで、東京や大阪などから新聞記者やプロのカメラマンが広島入りしました。その年の末までに撮影された数々の写真と動画は、推計値で「死者14万人」とされる被害の実態を克明に伝えています。奇跡的に散逸を免れながら78年を経て現存し、広島平和記念資料館で展示されたり、新聞に掲載されたりしています。

1945年末までに撮影された原爆写真1532点と動画2点を集めて国連教育科学文化機関(ユネスコ)の「世界の記憶」に国際登録することを目指し、日本政府はこのほどユネスコに申請書を提出しました。「広島原爆の視覚的資料—1945年の写真と映像」とのタイトルで、資料の所有や保存、活用に関わっている広島市、中国新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、中国放送、NHKの6者が共同申請者となっています。

写真と動画は、その時、その場所でしか撮影できなかったかけがえのない記録物です。将来にわたり、世界中の一人一人の目に触れる機会が増えてほしいものです。ユネスコでの審査の最終結果は2025年春に出される見通しです。

関連記事は次のアドレスで読むことができます。

「平和の歌」世界に響け 広島市など英訳動画制作 多国籍の音楽家 美しい声
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=137453>

G7サミット返礼 米大統領から手帳 対話の被爆者小倉さんに
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=137509>

日韓担う次世代 被爆の歴史共有 広島市と姉妹都市・大邱広域市の中高生
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=137492>

核兵器関連投融資 15社禁止 国内大手・中国地方金融機関アンケート 禁止条約採択後に対応
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=137649>

広島原爆写真 推薦 25年春にも可否決定 ユネスコ「世界の記憶」登録へ政府
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=137896>

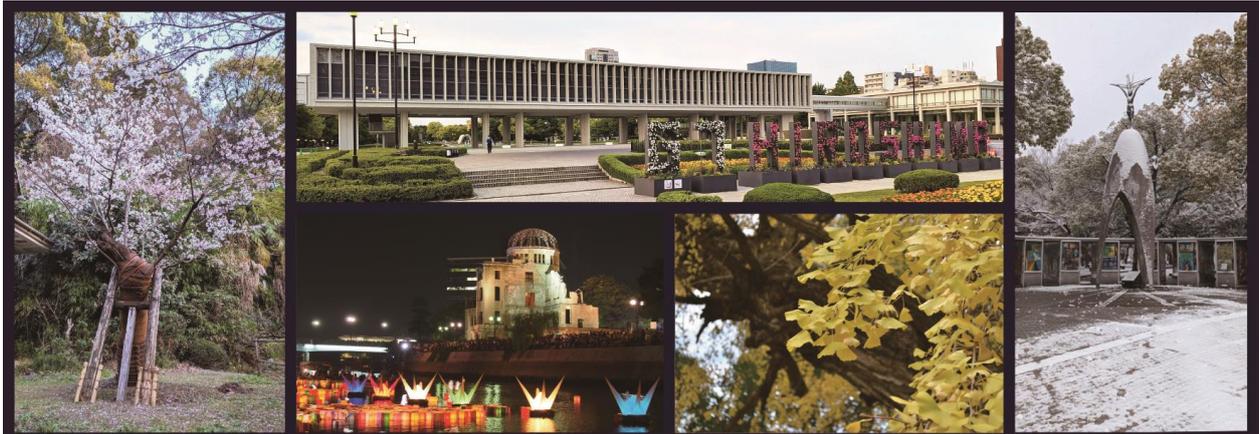
中国新聞ヒロシマ平和メディアセンターウェブサイト「写真で知る原爆」
https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?post_type=gallery

=====
■広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

=====
核兵器禁止条約は2021年1月22日に発効し、現在69か国が批准しています。日本政府の署名・批准は、平和首長会議が目指す「核保有国を始め全ての国がこの条約に参加」するための道づくりとなるものです。

広島被爆者7団体が推進する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください。

 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」署名用紙
<https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-syomei.pdf>



2023年も残すところあとわずかとなりました。

本年も、平和首長会議の取組について御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございました。

2024年も、平和首長会議は核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けて積極的な取組を進めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5
(公財)広島平和文化センター 平和首長会議運営課
TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452
Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/newsflash>

【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈X(旧ツイッター)〉  **@Mayors4Peace**
<https://x.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉  **@mayorsforpeace**
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！